



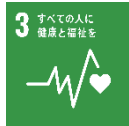
地域を題材とした教材開発と連携、 地域資源を活用した平和教育の国際的展開

教育学部児童教育学科 准教授 大庭 三枝

キーワード

地域の歴史・文化を題材とした教材開発, 幼児期から児童期の平和教育と世界的展開, 国際理解と交流(フランス語圏を中心に), 保幼小連携, ESD

該当するSDGs



1 研究内容

福山在住の広島原爆体験者から聞き取り作成した平和紙芝居と体遊びから折り鶴への展開、福山空襲を題材とした紙芝居と歌、福山の民話紙芝居、福山城が見てきた 400 年の歴史をたどる紙芝居、福山地域の「青い目の人形」に関する教育資料作成のほか、福山の伝統芸能「二上りおどり」で用いられる「四つ竹」をヒントにペットボトルを再利用した教具を開発するなど、生活地域の歴史・文化を子どもたちが体験的に学ぶことのできる教材・指導法開発を行う実践的研究を展開している。

研究成果をもとに、地域では就学前教育から小学校への接続(保幼小連携)について 2012 年より市内全域を支援し、現在も樹徳・久松台学区他で指導継続中である。研究成果は広く世界でも評価され(ESD アワード 2019 受賞)、ESD に関するスウェーデンの就学前教育指導書にも掲載されている。多様性理解のため、世界の子どもたちとの交流も支援している。

2.3 Three Steps of Developing Peaceful Mind in Children and Students

① 紙芝居
Kamishibai = Picture + Story
Impressing children with an image of peace

② 手(体)遊び
Physical expression with a song
Understanding the meaning of a song
Physically expressing peace-developing process

③ 折鶴制作
Folding paper cranes
Wishing peace by making paper cranes with friends

Ref. OGA M. (2019), The 2019 Education for Sustainable Development Award Winner's Presentation, 7th CMEP International Conference, Panama City.

Spreading Peace Education in Early Childhood Around the World

• In Sweden
"Preschool education for sustainability"
Chapter 14 : Peace education



2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・地域教材: 地域資源を活用した教材開発(フィールドワークからの教材化)と発信
- ・平和教材: 戦争体験者からの聞き取りとアーカイブ資料の作成、子どもたちへ証言の継承と多言語による発信
- ・学区の特性を生かした保幼小連携の推進(就学前教育からの接続)
- ・多文化: 多様性理解を促進する保育・教育、多文化共生・国際理解教育の推進
- ・ESD(持続可能な開発のための教育)(環境、平和、教育分野)

これまでの連携実績

- * 福山市・福山市立大学連携事業「福山市の保幼小連携に関する研究」代表(2012~2018 年度)。
- * 地域資源の発掘と教材化(体験者からの聞き取り・現地調査に基づく平和教材・紙芝居開発、金江小学校と連携し「青い目の人形」教育資料作成、等)。^①平和教育研究は OMEP(世界幼児教育・保育機構)より「ESD アワード 2019」を受賞。
- * 福山市立保育所とフランスの公立保育学校との交流を援助、幼児期における多文化理解を促進(現在も継続中)。
- * コロナ禍における非対面状況における教材開発(巨大折り鶴制作)とその実践(保育指導課と連携)→平和アピール展へ
- * ばら祭テーマソング「心に咲く花」に手話ダンス振り付け(福山市立女子短大時代)→地域教材として毎年ばら祭で披露。
- * 「二上りおどりの」の「四つ竹」をヒントに、ペットボトルを再利用した鳴り物「カッチンくん」を開発
 - 二上りおどり大会では毎年福山市立大学連が「四つ竹」と「カッチンくん」を鳴り響かせ踊る(制作・踊り指導)
 - 子どもフェスティバルでは「カッチンくん」工作 TENT を運営 ^②福山の伝統芸能「二上りおどり」を基に展開した教育プログラム(福山市立女子短大)は、平成 19 年度文部科学省現代 GP(現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム)に採択